



西村市長が加西市のさらなる飛躍を誓い式辞を述べました

最初に西村和平市長が、「郷土発展の歴史を振り返る時、今日の礎を築かれてきた多くの諸先輩と関係者の皆さまの、大いなるご功績に対し、敬意を表すとともに、心からの感謝を申し上げます。今後、加西市民が心を一にし、共に力を合わせ、郷土愛と英知を結集し、無限の情熱をもって未来の加西市を創っていきましょう」と式辞を述べました。

三宅利弘議長は、「議会の本分である監視機能と政策提言を行いながら、市民生活の利便性や快適性の向上に努め、市政発展のために最大限の努力を傾注します。これまで以上に全国に誇れる魅力ある加西市の実現を目指すべく、ここに決意を新たにします」とあいさつしました。

その後、市の自治行政の振興発展などに貢献され、功績が顕著であった3名を市政特別功労者として表彰。また、多年にわたり区長、農会長、民生・児童委員等を務め、自治や教育、文化、スポーツの振興などに貢献された61名と16団体に感謝状をお贈りして功績をたたえました。来賓や会場の約700人からも惜しみない拍手が送られました。

また、オープニングアトラクションとしてこども狂言塾の塾生が、新作狂言『根日女（ねひめ）』を披露。市能狂言総合プロデューサーで能楽笛方藤田流十一世宗家の藤田六郎兵衛さんが祝いの笛を演奏しました。最後は記念動画を上映し、加西市の発展など、50年の軌跡を振り返りました。動画は市ホームページで公開中です。是非ご覧ください。

加西市は、昭和42年（1967年）4月に、「加西はひとつ」の基本理念のもと、加西郡北条町、加西町、泉町が合併して、兵庫県下21番目の市として発足しました。

先人の英知と郷土発展に寄与された方々に感謝するとともに、これまでの加西市の発展を祝って4月29日、加西市民会館文化ホールで加西市制50周年記念式典を開催しました。

5年・10年後、さらには50年後に向け、さらなる加西市の飛躍を誓いました。



左から市政特別功労者の小田毅さん、柏原正之さん、本岡龍彦さん



オープニングアトラクションとして、新作狂言『根日女』を演じるこども狂言塾の塾生



藤田六郎兵衛さんの祝いの笛



記念動画「50年のあゆみ」の上映(市ホームページで公開中)

### 50周年を祝い演奏「兵庫芸術文化センター管弦楽団ストリングス」

4月29日の午後からは、加西市民会館文化ホールで兵庫芸術文化センター管弦楽団による演奏会が開催され、リニューアルしたホールに美しい音色が響きわたりました。

また、特別ゲストとしてお招きしたフランス国立リヨン管弦楽団のコンサートマスターを務めるジェニファー・ギルバートさん（ヴァイオリン）の演奏もあり、約750人が聴き入りました。



兵庫芸術文化センター管弦楽団ストリングス

市制 50 周年記念事業の一環として、「第 2 回加西能」を加西市民会館文化ホールで開催しました。

訪れた約 730 人は、狂言師の野村萬斎さん監修・演出の新作狂言『根日女（ねひめ）』や哲学者の梅原猛さん書き下ろしの新作能『針間（はりま）』など、能狂言の世界を堪能しました。

特に狂言では、加西市こども狂言塾の塾生が、野村萬斎さんらの指導のほか、市民有志で結成された応援隊のサポートにより、加西の歴史に基づいた創作狂言を披露しました。



新作狂言『根日女』を演じるこども狂言塾の塾生ら

■**新作狂言『根日女』**／日本最古の地誌『播磨国風土記』に記された玉丘古墳に眠る根日女の伝説に基づき、運命的な出会いや恋愛を描く物語です。

野村萬斎さんら 2 人の狂言師とこども狂言塾生 17 人、同塾を卒業した 6 人が出演。市能狂言総合プロデューサーで笛方藤田流宗家の藤田六郎兵衛さんによる笛の音色が響く中、子どもたちは堂々とした演技を披露しました。

野村萬斎さんは「全員がしっかりと演技でき、きちんとドラマになっていた」と評価し、藤田六郎兵衛さんは「子どもたちの間で伝統ができていくことはすごいこと。誇りを持ってほしい」と話されました。

根日女役の岩本ちひろさん（兵教大付属中 1 年・12 歳）は「大きな声が出て、体の動きもはっきりとできてよかった」と話しました。



市制 50 周年を祝い、祝いの場で演じられる大変めでたい能「舞囃子『高砂』」を上演

■**新作能『針間』**／2 人の皇子（意彥と袁彥）が皇位継承争いの続く都から志染の里（現三木市）に逃れて、それぞれ牛飼いと馬飼いになり、後に都で仁賢天皇と顕宗天皇になった話を描いています。

『針間』では人間国宝の大槻文蔵さん、その他にも舞囃子『高砂』では観世鏡之丞さんら、日本を代表する能楽師が華麗な舞を披露しました。

大槻さんは「(2 年前の播磨国風土記 1300 年祭と比べて) ホールなので観客の皆さんと一体感があつた。また機会があれば演じたい」と話されました。



人間国宝の大槻文蔵さん（左）らが華麗な舞を披露「新作能『針間』」



## キラリ☆加西

第 3 回 加西市体育協会・会長  
杉本信彦さん (72 歳)



市制 50 周年おめでとうございます。50 年前は、姉の影響もあり、社会人で陸上競技の 100・200m や走り幅跳びをしていました。

■**加西市の変化**／昔と比べると体育施設が充実して良くなっていますが、50 年前の方が兵庫県や全国で活躍するスポーツ選手が多かったように思います。また、地域の方も会場へたくさん応援に来られていました。

■**未来を託す子どもたちへ**／スポーツに限らず、小さい頃から何かに興味を持って、観戦したり、チャレンジしたりしてほしい。私自身、スポーツを通じて人との出会いが財産になり、チームでプレーをすることで知らず知らず協調性が身につきました。また、スポーツをしてきたおかげで、健康的な毎日を過ごせています。

市制 50 周年記念として、加西市で活躍する方々にインタビューをし、50 周年のメッセージや活動状況などを紹介します。

■**体育協会の今後の展望**／スポーツを通じて、地域の活力が湧くようにしていきたい。子どもの頃はスポーツ少年団で運動をし、その後体育協会や指導者として活動できるように道すじをつけていきたい。また、熱意を持った指導者の人材確保にも努めたい。

■**加西市体育協会の活動**／15 種目協会で結成。4 月に「町親善ソフトボール大会」、10 月に「体育大会」、2 月に「ロマンの里ウォーキング」を開催しています。皆さんもご参加ください。



4 月に開催した町親善ソフトボール大会